



1

©Hiroki Taniguchi, Courtesy of Akio Nagasawa Gallery

谷口広樹「Rebirth」

この度、Akio Nagasawa Gallery Aoyamaは、谷口広樹個展「Rebirth」を開催致します。

谷口は、絵画の視点を核に、イラストレーションやグラフィックデザインを中心にジャンルを
超え精力的に活動したアーティストです。

2021年に残念ながら永眠致しました。アーティストにとって死とは、肉体的なもの他、その
作品が社会に流通しなくなった時を意味します。

展覧会タイトルが示す通り、残された1980年代初頭から亡くなる直前に制作された作品を展覧
することで、谷口作品を見つめ直し、新たな谷口広樹像を提示する試みです。

是非この機会にご高覧ください。

《開催概要》

作家名 谷口広樹（英表記：Hiroki Taniguchi）
タイトル 「Rebirth」
会期 2024年5月9日（木）～6月1日（土）
11:00-13:00 / 14:00-19:00 木～土曜（日～水曜・祝日休廊）
会場 Akio Nagasawa Gallery Aoyama
〒107-0062 東京都港区南青山5-12-3 Noirビル2F
TEL：03-6427-9611 FAX：03-6427-9612
<https://www.akionagasawa.com/exhibition/rengel/>

《広報・ご取材に関するお問い合わせ》

AKIO NAGASAWA Gallery | Publishing info@akionagasawa.com

AKIO NAGASAWA GALLERY

《作家略歴》



1957年神奈川県生まれ。

1983年東京藝術大学大学院美術研究科修了。日本橋高島屋宣伝部（現在ATA）を経て、1985年bise inc.を設立。絵画の視点を核に据え、イラストレーションやグラフィックデザインを中心にジャンルを超え精力的に活動する。長野オリンピック開・閉会式プログラム、無印良品などを筆頭に扇や手拭、風呂敷といった和のテイストも多く手がける。神谷町光明寺本堂の壁画も手がける。イベントやグループ展にも多数参加し、デザイン系のギャラリーをはじめ、2000年よりシロタ画廊やコバヤシ画廊など絵画系のギャラリーにおいても発表を続けている。東京工芸大学教授も務める。2021年に逝去。

《広報用画像》

ご希望の画像番号をお申し付けください。 ©Hiroki Taniguchi, Courtesy of Akio Nagasawa Gallery



2



3



4



5



6